

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還） 14

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789

44
3.14
下田大使
スコット議員
会
議

カヒヒ 万博
 大政外外官 電信写
 務次 房
 臣官官審審長
 秘書文会官給
 総人館厚計
 参副析
 参領旅移
 参北東経
 中西壁
 参北北保
 参一二
 参国東洋
 西東
 近ア長経
 参書近ア
 次総経国万
 参領総三
 参政技二
 参一理
 参条協規
 参政経科
 参社専
 参道内外
 一二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 10718 主管
 69年3月14日 22時00分 ワinton 発着
 69年3月15日 12時20分 本省 米光

外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題(スコット議員との会談)

第800号 極秘 至急

14日本使スコット共和党院内幹事(先般の訪日議員団長)を上院に訪問し、オキナワ返かん問題につき次の通り会談した。

1、(本使より、訪日の印象をたづねたのに対し)自分は2年前訪日したので日本の変化にはさしておどろかなかつたが、今回は総理、外相はじめ政府民間各方面の指導者多数と会談することを得て最近の日本の政情、経済の実情を知ることができ、非常に有益であつた。

2、議員団一同オキナワ問題が日本国民の重要関心の対象になりおることに強い印象を受け、日米友好関係維持のためには同問題の早期解決を必要と見る点については議員団一同のO O N B U Bがあつたが、問題の中心たるオキナワ基地については意見が分れ、これは米議会全体の状況の反えいでもある。

(オキナワ問題につき帰国後大統領と話されたか々とたづ

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ねたのに対し) 国務省には報告したが、ホワイトハウスには未だ報告していない。

3、自分は日本国会議員の多く(野党のみならず与党も含め)が日本の安全につき余りにらつ観的な意見をいだき、中共の無感かくなのにはおどろいた次第であるが、朝せん戦争のにがい経験や現在の北鮮よりの南鮮に対するしつような侵とう工作、更に将来中共の核兵器によりドウカツの危険等については識者も含め日本国民の多くが全く無感かくのように認められ、この点はゆう慮にたえなかつた。

4、責はもし米軍が米軍を撤退すると言つた場合、日本国民の反響はいかなるものと思われるかと質したので、本使より個人的見解としてそのような場合、米軍の引続き駐留を希望するであろう欧州諸国とは異なり、日本の場合は左よく革新主義者のみならず、保守派の半数も右をさしてかいないものと思う。日本の場合は安保条約が講和条約と同時に発効したため、占領軍がそのまま日本に残留した形となり、オキナワ同様うはもとより、内地の日本人すら日本の独立は未だ完全にかい復していないようなさつ覚をいだいており、これが日本自身の安全に対する感覚をまひさせる原因の一をなしている。従つて日本国民をして安全

極秘

大分

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

保障措置の重要性に目覚めしめ。また米国の希望するごとくアジアの指導国たる責任を自覚せしめるためにはオキナワ施政権の返かんが先決問題となるべく。その意味からも同問題の早期解決は緊要と考えられる旨強調しておいた。よ。その際ちよう度ニクソン大統領から電話がかかり。スエツト議員は日本国民のオキナワ施政権早期返かんに対する希望についての DEPTH OF CONSENSUS を説明していた。大統領はさ来週は外国のひん客が来るからオキナワ問題はその前にききたいとのこと。来週中に METCALE 議員とともにニクソンを訪問することになった旨述べたので。本使より。オキナワ問題解決の緊要性につきとくと大統領にご説明願いたい旨依頼しておいた。

(1)